

2021年9月15日
公益社団法人日本語教育学会

2021年度日本語教育学会春季大会
大会若手優秀発表賞 選考結果報告

1. 申請者数※

2名

2. 発表採択者数

2名

3. 授賞者（授賞理由は次ページ参照）

<口頭発表>

陸嘉良氏（東京工業大学大学院生）

発表題目：「認知負荷が日本語学習者の発話に与える影響—口頭流暢性の客観指標に
注目して—」〔共同発表者：佐藤礼子氏（東京工業大学）〕

<ポスター発表>

檜原ゆかり氏（早稲田大学大学院生）

発表題目：「日本語非母語話者の学校配布プリントの理解向上にイラストがどのよう
な効果を生み出すのか」〔単独発表〕

※本賞は、2021年度春季大会の選考分まで、その[表彰規程](#)で定める若手本人が選考対象
となることを申請した場合に限り対象者といたしました。

<連絡先>

公益社団法人日本語教育学会（大会担当）

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

E-mail: taikai-office@nkg.or.jp

2021年度春季大会 大会若手優秀発表賞授賞者

本賞は、春季・秋季の各大会において発表された口頭発表・ポスター発表の発表者のうち、特に優れていると認められた若手の筆頭発表者を表彰します。なお、2021年度春季大会については、発表者本人が申請した場合に限り選考対象としました。

<口頭発表>

授賞者：陸嘉良氏（東京工業大学大学院生）

発表題目：「認知負荷が日本語学習者の発話に与える影響－口頭流暢性の客観指標に注目して－」

〔共同発表者：佐藤礼子氏（東京工業大学）〕

【授賞理由】

本研究は、発話の流暢性に関わる認知負荷の影響を量的に捉えようとしている点でオリジナリティが認められる。また、緻密に計画された丁寧な調査が行われていたこと、発表においても工夫してわかりやすく述べることに努力されていたことがうかがえた。本発表は、オリジナリティ・研究方法・発表の態度・発表内容のバランスなどの評価項目において審査委員による評価が高かった。研究目的を達成するにはさらなる詳しい考察が必要ではあるが、本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであり、若手研究者である陸嘉良氏の今後の研究のますますの発展が期待される。

<ポスター発表>

授賞者：檜原ゆかり氏（早稲田大学大学院生）

発表題目：「日本語非母語話者の学校配布プリントの理解向上にイラストがどのような効果を生み出すのか」〔単独発表〕

【授賞理由】

日本語非母語話者に対する支援が日本語の言語支援だけに目が向けられがちなか中、本研究は子どもや保護者に向けた学校配布プリントの理解に着眼しイラストが文章の内容理解を促進することを定量的に調べた点に独創性がある。発表では、フロアーに問いかけ、質問に対して真摯に丁寧に答えようとするなど、発表の態度に関する審査委員の評価が特に高かった。今後、研究方法をより精緻化すれば、学校教員に対する日本語非母語話者への情報伝達の方法に関して、学校教員に向けた提言などにもつながり、地域貢献にも役立つ研究だと思われる。本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであり、若手研究者である檜原ゆかり氏の今後の研究のますますの発展が期待される。

以上
